

普及活動情勢報告（令和4年4月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

トマトの基本管理を見直そう！・・・あぐりっこ定例会・・・



3月16日、四万十農園あぐりっこ研修センターで定例会が開催され、生産者、研修生、関係機関の6名が参加しました。

農業改良普及課は、トマト栽培の基本を踏まえ、温湿度・かん水・肥培管理などのポイントを説明しました。参加者からは、「日々の管理を見直す良い機会になった」、「基本を再確認できて良かった」などの声が聞かれました。

今後も、個別巡回や定例会の活動を通じて、生産者の収量・品質の向上に向けた取組を支援します。

ソラマメの品質向上にむけて！・・・JA三崎支所ソラマメ目慣らし会・・・



4月4日にJA高知県三崎支所選果場で土佐清水市、黒潮町の生産者4名とJA三崎支所販売課職員3名、営農指導員2名、振興センター職員1名が集まりソラマメの目慣らし会を開催しました。

JAからは出荷規格や品質低下の原因について説明があり、農業改良普及課からは、コーティングしていない肥料への切り替えについて情報提供を行いました。生産者からは「サヤの中にある豆の褐変を見分けるのはむずかしい」などの意見が聞かれました。

今後は、ソラマメの品質向上と合わせて、環境保全の推進に向けて支援していきます。

担い手支援は関係機関一丸となって！・・・担い手・集落営農支援チーム会・・・



4月上旬から中旬にかけて、管内6市町村の各担当者と集落営農及び担い手の年間計画についてチーム会を行いました。

チーム会では、今年度計画している新規就農者ネットワーク協議会や集落営農法人連絡協議会等について、具体的な時期や内容を説明後、市町村の計画や協力等について確認しました。

農業改良普及課は、市町村と連携し、担い手の確保・育成や集落営農の推進に取り組んでいきます。

カズラだらけの大木が見違えるように！・・・（農）黒尊川営農組合によるユズ園の再生・・・



4月7日、四万十市奥屋内地区で（農）黒尊川営農組合の組合員7名に対して、約2年間放任されたユズ園20aの再生支援を行いました。

令和4年2月に設立された（農）黒尊川営農組合では、今年からユズ栽培に取り組むため、放任園の剪定方法の説明を受けた後、組合員が作業を行いました。剪定後は、太い枝が多く高木化した枝が整理され、カズラで覆われていた地面もスッキリしました。

農業改良普及課は、法人の経営発展に向けて、ユズの青果出荷ができるよう今後も活動を支援します。

コロナに負けず地域交流の取組を！・・・幡多ブロック青年農業士連絡協議会総会・・・



4月12日、幡多地域の青年農業士8名が幡多農業振興センターに集まり、幡多ブロック青年農業士連絡協議会総会を開催しました。

農業改良普及課からは、本年度の研修先や勉強会の内容等について提案し、具体的な活動内容を協議しました。

会長からは、「新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、十分に対策を取りつつ、地域の交流活動を行いましょ！」といった意見が出され、協議会の志気を高めました。

農業改良普及課は、総会で決定された活動の実践を支援していきます。

女性の活躍推進！

・・・幡多地区農村女性リーダー総会・・・



4月13日、幡多地区の農村女性リーダー4名が幡多農業振興センターで総会を開催しました。

農業改良普及課からは、本年度の活動計画について、リーダーに係わらず女性グループや若手農業者の集い等、女性リーダーと交流できる活動が出来ないか提案し、協議しました。

参加者全員が、「いろんな方達と交流していきたい」、「農業女子に集いの場を提供したい」など前向きな議論で盛り上がりました。

農業改良普及課は、総会の内容を受けて、女性の活躍の場をいろいろな形で創出していきます。